



## 【開館 50 周年記念特別展】

## Seed 山種美術館 日本画アワード 2016 —未来をになう日本画新世代—

山種美術館は、日本画の奨励・普及活動の一環として創設した『山種美術館賞』を、1971（昭和 46）年から隔年 14 回にわたり開催、その展覧会である「山種美術館賞展 今日の日本画」は、当時、新人の登龍門として広く注目を集め、高い評価を得ていました。

当館では開館 50 周年を記念し、かつて実施していた『山種美術館賞』の趣旨を継承した公募展『Seed 山種美術館 日本画アワード』を新たな形で再開いたしました。「今日の日本画 山種美術館賞展」から通算 15 回目となる本展は、これからの時代にふさわしい、日本画の新たな創造に努める優秀な画家の発掘と奨励を目指します。

このたびのアワードにともない開催する本展では、厳正な審査の結果選ばれた受賞作品を含む 40 点の入選作品を展示、公開します。7 人の審査員による白熱した審査が行われ、多数の力作の中から大賞・京都絵美《ゆめうつつ》、優秀賞・長谷川雅也《唯》、特別賞（セイコー賞）・狩俣公介《勢焰》、審査員奨励賞・外山諒《Living Pillar》\*の 4 点の受賞が決定しました。本展は加えて、松尾敏男《翔》、小山硬《天草（納戸）》（ともに山種美術館）など、過去の「今日の日本画 山種美術館賞展」の第 1 回～第 4 回の大賞と優秀賞作品 12 点を参考出品します。

開館以来、各時代の日本画を応援してきた当館のあゆみを振り返るとともに、現在そして未来の日本画をになう若手画家の作品をととして、それぞれの時代の息吹をお伝えします。

\*審査過程において、審査員全員からの要望により、今回特別に「審査員奨励賞」を設けることになりました。

■展覧会名 : 【開館 50 周年記念特別展】Seed 山種美術館 日本画アワード 2016 —未来をになう日本画新世代—  
Yamatane Museum of Art NIHONGA AWARD : Seed 2016 — Meet the Future of Nihonga —

■会 期 : 2016 年 5 月 31 日(火)～6 月 26 日(日)【24 日間】

■主催・会場 : 山種美術館

■後 援 : 文化庁、東京都、東京新聞

■協 賛 : セイコーホールディングス 株式会社

■助 成 : 公益財団法人 朝日新聞文化財団

■開館時間 : 午前 10 時から午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)

■休 館 日 : 月曜日

■入 館 料 : 一般 700 円(500 円)・大高生 500 円(300 円)・中学生以下無料

※ ( )内は 20 名以上の団体料金、および前売料金。

※ 障がい者手帳、被爆者健康手帳をご提示の方、およびその介助者(1 名)は無料。

きもの割引 会期中、きものでご来館のお客様は、団体割引料金となります。 ※ 複数の割引の併用はできません。

■展示予定作品 : 約 50 点 ※出品作および展示期間は変更される場合があります。

「Seed 山種美術館 日本画アワード 2016」入選作品 (うち大賞、優秀賞、特別賞、審査員奨励賞 各 1 点)

「今日の日本画 山種美術館賞展」の大賞、優秀賞作品〔第 1 回(1971)～第 4 回(1977)まで 12 点〕

■交通機関 : JR・東京メトロ日比谷線 恵比寿駅より徒歩約 10 分

恵比寿駅西口より都バス(学 06 番 日赤医療センター前行)広尾高校前下車、徒歩 1 分

渋谷駅東口ターミナル乗り場 54 より都バス(学 03 番 日赤医療センター前行)東 4 丁目下車、徒歩 2 分

■問い合わせ : 03-5777-8600(ハローダイヤル 電話受付時間 : 8:00～22:00)

■U R L <http://www.yamatane-museum.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/yamatanemuseum> / Twitter <https://twitter.com/yamatanemuseum>

■住 所 : 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 3-12-36

★入選者の発表、展覧会詳細は当館 HP および本展の「受賞・入選作品決定のお知らせ(プレスリリース 2)」をご参照ください。

★公募の詳細については、応募要項チラシと当館 HP にてご確認ください。

報道関係の方からの本件に関するお問合せ先

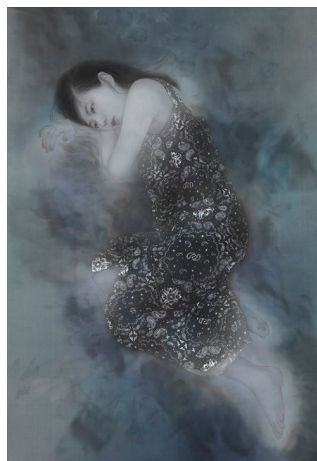
展覧会広報事務局(ユース・プランニング センター内) 担当/池袋・岩川・大山

〒150-8551 東京都渋谷区渋谷 1-3-9 東海堂渋谷ビル 3F

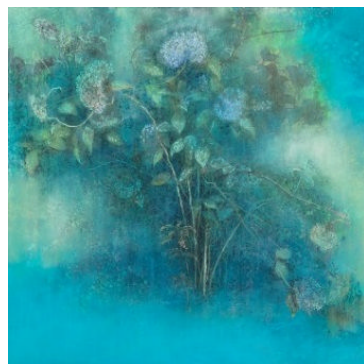
TEL : 03-6821-9100 FAX : 03-3499-0958 E-mail : yamatane-pr@ypcpr.com

【山種美術館開館 50 周年記念特別展】Seed 山種美術館 日本画アワード 2016 —未来をになう日本画新世代—  
主な出品予定作品 山種美術館

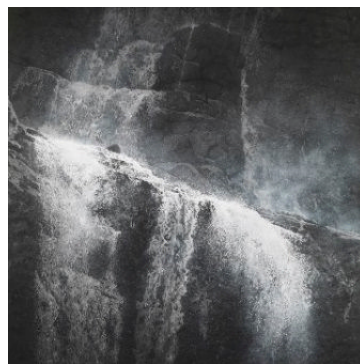
2016(平成 28)年 受賞作品



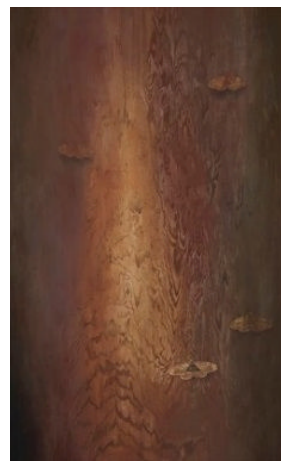
**大賞**  
京都絵美《ゆめうつ》  
2016(平成 28)年 絹本・彩色



**優秀賞**  
長谷川雅也《唯》  
2016(平成 28)年 紙本・彩色



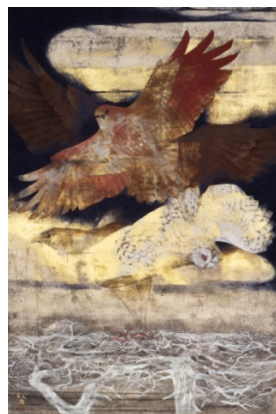
**特別賞（セイコー賞）**  
狩俣公介《勢焰》  
2016(平成 28)年 紙本・彩色



**審査員奨励賞**  
外山諒《Living Pillar》  
2016(平成 28)年 紙本・彩色

〔参考出品〕 「山種美術館賞展 今日の日本画」の大賞、優秀賞作品

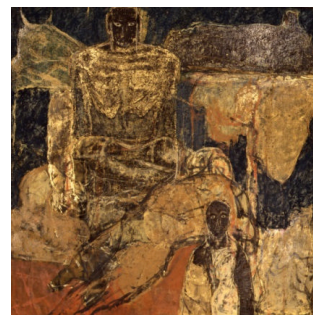
第 1 回山種美術館賞展 1971(昭和 46)年



**優秀賞**  
松尾敏男《翔》  
1970(昭和 45)年  
紙本・彩色  
山種美術館



**優秀賞**  
小山硬  
《天草(納戸)》  
1972(昭和 47)年  
紙本・彩色  
山種美術館



**優秀賞** 小嶋悠司《群像》  
1972(昭和 47)年 麻布・彩色  
山種美術館

第 3 回山種美術館賞展 1975(昭和 50)年



**大賞** 大森運夫《山の夜神楽》  
1975(昭和 50)年 紙本・彩色  
山種美術館



**優秀賞**  
堀泰明《童女》  
1975(昭和 50)年  
紙本・彩色  
山種美術館

第 4 回山種美術館賞展 1977(昭和 52)年



**優秀賞** 丹羽貴子《ひとりごと》  
1977(昭和 52)年 紙本・彩色  
山種美術館

※ 出品作品および展示期間は都合により変更される場合があります。

※ 掲載の作品は著作権が切れておりませんが、この度の展覧会紹介に関する掲載については当館が著作権者から画像使用許可をまとめて取っておりますので、本展周知の目的に限り使用が可能です。

◆参考：『山種美術館賞展 今日の日本画』（1971～1997 年、全 14 回開催）とは？

当館は、創立者・山崎種二（山種証券：現 SMBC フレンド証券 創業者）の「美術を通じた社会貢献」という理念のもと、日本画の奨励・普及活動の一環として 1971（昭和 46）年に『山種美術館賞』を創設しました。その後 1997（平成 9）年までの隔年 14 回にわたり、「今日の日本画 山種美術館賞展」を開催。この『山種美術館賞』は、推薦委員により推薦された画家が新作もしくは未発表作品を出品、選考委員による審査を経て、大賞 1 名、優秀賞 2 名が選定される形式で実施されました。

本展では、参考出品として第 1 回～第 4 回までの大賞、優秀賞作品 12 点を展示予定です。



第 9 回山種美術館賞選考の様子（1987 年）



【開館 50 周年記念特別展】Seed 山種美術館 日本画アワード 2016 —未来をになう日本画新世代—  
受賞・入選作品決定のお知らせ

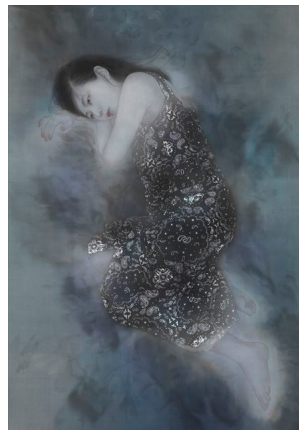
このたび、山種美術館の公募展『Seed 山種美術館 日本画アワード 2016 —未来をになう日本画新世代—』に多数のご応募をいただき、厳正な審査の結果、以下のとおり 40 名の皆様が入選されましたので、ここに発表いたします。

それぞれの方の個性が光る魅力的な力作の中から、大賞、優秀賞、特別賞、審査員奨励賞作品(各 1 点)が選ばれました。

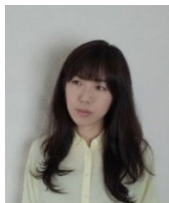
※審査過程において、審査員全員からの要望により、今回特別に「審査員奨励賞」を設けることになりました。

※プロフィールの年齢は応募時のものです。

## 大賞 副賞 200 万円

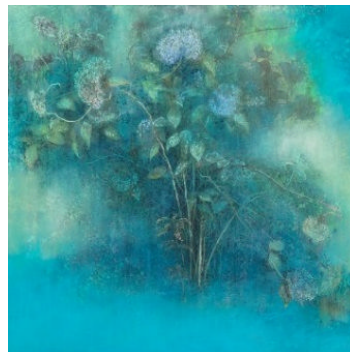


《ゆめうつつ》

みやこ えみ  
京都 絵美

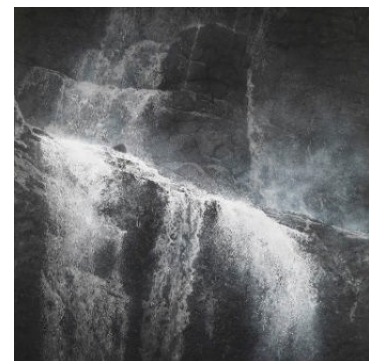
1981 年福岡県生まれ(34 歳)。  
2012 年東京藝術大学大学院文化財保存学専攻保存修復日本画博士後期課程修了。博士学位(文化財)取得。創作活動の傍ら仏教絵画研究を続ける。現在、東京藝術大学非常勤講師、日本美術院院友。

## 優秀賞 副賞 100 万円

ただ  
《唯》はせがわ まさや  
長谷川 雅也

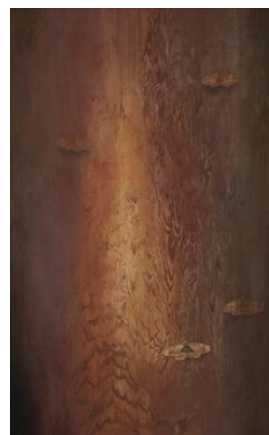
1974 年京都市生まれ(41 歳)。  
2001 年京都造形芸術大学大学院修了。1998 年第 30 回日展(現在、改組新日展)初入選、特選(2004、2006)、審査員(2011、2015)、2012 年会員となり今日に至る。現在、日展会員、日春会会員、晨鳥社所属。

## 特別賞(セイコー賞) 副賞 腕時計(GPS ソーラーウォッチ アストロン)

せいえん  
《勢焰》かりまた こうすけ  
狩俣 公介

1978 年千葉県生まれ(37 歳)。  
東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。院展奨励賞(2011、2012)、春の院展奨励賞(2011、2015)。現在、日本美術院院友、東京藝術大学大学院非常勤講師、女子美術大学非常勤講師。

## 審査員奨励賞



《Living Pillar》

とやま まこと  
外山 諒

1994 年愛知県生まれ(21 歳)。  
2013 年愛知県立芸術大学美術学部日本画専攻入学。2014 年グループ展「味物(ためつもの)展」Gallery White Cube。  
現在、同大学 4 年次在籍。

**審査員** (敬称略・50 音順) \*「廻」の本来の表記は「廻」ですが、パソコン、携帯電話等の画面の読みやすさを優先し「廻」を使用しています。

佐藤 道信(東京藝術大学 教授)／竹内 浩一(日本画家)／松村 公嗣(日本画家、愛知県立芸術大学 学長)／  
宮廻 正明(日本画家、東京藝術大学大学院 教授)＊／安村 敏信(国際浮世絵学会 常任理事)／  
山下 裕二(明治学院大学 教授)／山崎 妙子(山種美術館 館長)

## メッセージ 山崎 妙子(山種美術館 館長)

今回、259 点の全応募作品は、バラエティに富んだモチーフの作品が多く、これからの時代にふさわしい伸び伸びとした自由な発想、確かな技術を感じさせるものでした。また、応募者の年齢は 18 歳から 45 歳と幅広く、入選者は男女比がほぼ半々という結果となっています。入選作品は、構図、色彩、技法など日本画本来の魅力を備えつつ、現代的な要素も盛り込んだ作品であり、日本画の確かな未来を感じることができました。ご応募いただいた方々に心より御礼申し上げます。

本展覧会を通して、現代に生きる若い作者による新しい日本画の息吹を感じていただければ幸いです。受賞・入選作品と第 1 回～4 回の受賞作品(1971 年～1977 年)の比較展示もお楽しみください。






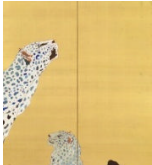
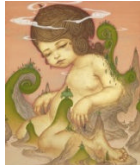




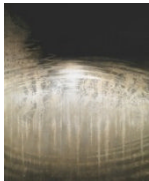





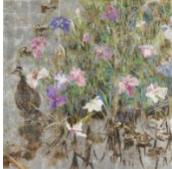
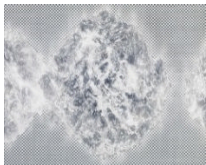
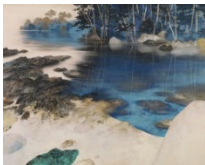

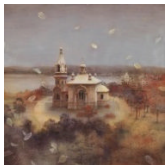
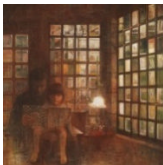


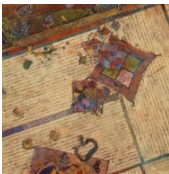
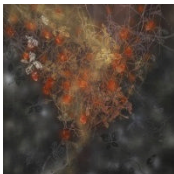

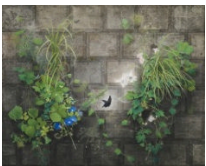


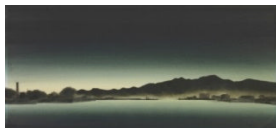
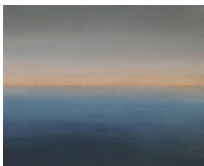
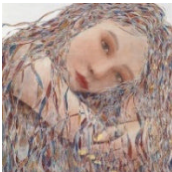
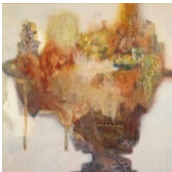



## 総評 竹内 浩一(日本画家)

開館 50 周年を記念して「Seed 山種美術館 日本画アワード 2016」展が開催される。常に変動する社会にあって、公募メッセージには「日本の自然や風土の中に磨かれた日本画の魅力を未来に引き継ぎ感動と発見をもたらしたい」としている。明治以降の日本画の名品に流れるのは格調だと思う。村上華岳も奥村土牛も年とともに品位ある絵を描いた。日本画は写生を重んじてきた。対象と向き合い自他のない九識の境地を求めている。応募された作品は、奇のてらひはなく、安易な新しさに走らず、日本画の基底材のよさを甘受し、個の思想を画面に映しこんでいる。高い技量も相対レベルを上げていた。大賞を受賞した京都絵美さんの《ゆめうつつ》は、深く心に響く美しい絵だ。幻覚にある女性の目がいつまでも印象に残る。

作者を一点の絵で判断してはならないが、その一点が歴史に残る一点になるかも知れない。何時のときも、心への問いと技の研鑽が格調につながっている。



## 入選作品 (50 音順)

					
浅野有紀 《刻の波 -5》	石原葉 《Veil of Ignorance, Case 2》	今岡一穂 《虚と実》	鵜飼義文 《星をみる。》	漆原夏樹 《彼女の風景》	江川直也 《冬三日月》
					
小田川史弥 《春景》	柏木菜々子 《夢の跡》	加藤文史 《畔》	川瀬伊人 《白滴》	川原田明有未 《つづの》	
					
北川安希子 《対自—ハシビロコウ》	北島文人 《宙》	清見佳奈子 《風がふく》	鹿間麻衣 《陽光》	清水航 《彩りの水辺》	
					
新山拓 《Quantumscape — Trinity —》	水津達大 《水辺》	鈴木季邦 《ウチヒサールの風》	高木かおり 《鎮魂歌》	高橋雅美 《ぬくもり》	
					
田口友香 《緒顔の母》	武田裕子 《花風の窓》	竹原美也子 《ひぐらしの鳴くとき》	立木美江 《虫送り》	長澤耕平 《草 木 花》	
					
中村嘉宏 《塀》	能登真理亜 《雨の住処》	彦川侑姫 《太陽円》	榎谷友子 《オリジン》	松野木望会 《海暁》	
					
三鎗彩音 《依存》	水野淳子 《消えない記憶》	三橋卓 《ドッペルゲンガー》	矢島史織 《Monster #3》	山本真澄 《後ろの正面だあれ》	

【開館 50 周年記念特別展】Seed 山種美術館 日本画アワード 2016 —未来をになう日本画新世代—

- 会 期 : 2016 年 5 月 31 日(火)~6 月 26 日(日)【24 日間】  
 ■主 催・会 場 : 山種美術館  
 ■協 賛 : セイコーホールディングス 株式会社  
 ■後 援 : 文化庁、東京都、東京新聞  
 ■助 成 : 公益財団法人 朝日新聞文化財団  
 ■開 館 時 間 : 午前 10 時から午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)  
 ■休 館 日 : 月曜日  
 ■入 館 料 : 一般 700 円(500 円)・大高生 500 円(300 円)・中学生以下無料  
 ※ ( ) 内は 20 名以上の団体料金、および前売り料金。※ 障がい者手帳、被爆者健康手帳をご提示の方、およびその介助者(1 名)は無料。

報道関係の方からの  
本件に関するお問合せ先

展覧会広報事務局(ユース・プランニング センター内) 担当/三岩・岩川・平松  
 〒150-8551 東京都渋谷区渋谷 1-3-9 東海堂渋谷ビル 3F  
 TEL : 03-6821-9100 FAX : 03-3499-0958 E-mail : yamatane-pr@ypcpr.com